

ひめは、おかしくなってきました。「あたしは、いま、かえるのくににきて、かえるのびょういんに、いれられているのにちがいない。いぼがえるは、ここのおいしやさんで、とのさまがえるは、きっと、ここのおうさまで、あたしをみにきたのにちがいない。あたしのかおと、かえるのかおとは、たいへんにちがうか

ら、めずらしがっている
のだらう」こう、おもっ
ているうちに、とのさま
がえるは、あかがえるの
へいたいをつれて、さっ
さとかえっていきました
た。そうすると、たいへ
んです。かえるのくにの
おうさまが、わざわざ、
びょういんまで、おしゃ
べりひめを、みにきたと
いうことを、くにじゅう
のかえるは、みんなきい

たらしく、いろんなかえるが、ぞろぞろと、かえるのびょういんのいりぐちから、はいると、すぐにひめのかおをのぞきこみます。むしめがねをだして、のぞきこむものもあります。のーとをだして、なにかをかきとめていくものも、あります。かめらをだして、さつえいしていくものなど、いろいろありました。なか

には、なにやらはなしか
けるものも、あります。

「ぐれれ、ぐれれ」ひば
りのくにでこりていたの
で、さっきから、だまっ
てがまんをしていたおし
ゃべりひめ